



# 7月・8月の主な研修

【動画】：開始日(10:00) 終了日(17:00)  
以外は、24時間視聴可

- ケアマネジャー研修(共通)**「世田谷区の組織と社会資源」  
R5.7.3(月)～8.3(木) 【動画】講師 世田谷区職員 他
- 認知症ケア研修**「認知症の人と家族への支援」  
R5.7.25(火)～8.24(木) 【動画】講師 佐賀勝之氏
- 食支援(栄養・調理)研修**  
「高齢者のフレイル予防 だんばく質食品を取り入れるPoint!」  
R5.7.26(水) 1回目 10:00～12:30 } 【集合】  
2回目 14:30～17:00 }  
講師 竹内洋子氏 米山久美子氏
- 対人援助技術研修(第2回)**  
「福祉職に求められるコミュニケーションのテクニックとスキル」  
R5.7.5(水) 14:00～16:00 【集合】講師 諏訪茂樹氏
- 災害対策研修「事業継続計画(BCP)の策定」**  
R5.7.7(金)～8.7(月) 【動画】講師 後藤志志氏
- ケアマネジャー研修 実践力向上「リーダー養成」**  
R5.7.10(月)～7.31(月) 【動画】講師 山田美代子氏
- 介護技術研修(現任1)**  
「再点検！ 移乗介護 我流介護になっていませんか？」  
R5.7.11(火) 18:00～20:00 【集合】講師 堀口将氏
- 高次脳機能障害支援力向上研修(基礎)**  
「高次脳機能障害の基礎的理解と支援～明日から使える支援のコツ～」  
R5.7.31(月) 10:00～8月31日(木) 【動画】  
講師 今村由美子氏 紫尾田リエ氏
- メンタルヘルス研修「依存症の基礎知識」**  
R5.8.24(木) 時間未定 【集合】  
講師 中部総合精神保健福祉センター職員
- 認知症ケア研修「多職種連携によるチームケア」**  
R5.8.31(木) 14:00～17:00 【集合】  
講師 村島久美子氏

※詳細は研修センターホームページ、Twitter、Fax情報便等でお知らせします。

世田谷区福祉人材育成・研修センター

だよ

# じんざいくん便り

令和5年6月 第19号

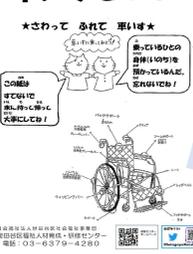


世田谷区福祉人材育成・研修センターでは、福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進しています。子どものころから福祉の理解を進めるため、「福祉の出前入門講座」などを行い、今後も世代を越え、「福祉の理解」の推進に取り組んで参ります。

## ◎福祉の出前入門講座

世田谷区内の小・中学校や関係機関からのご依頼で、社会福祉協議会等と協力して福祉の話や車いすの体験などを行っています。ちょっとした優しさで「誰もが住みやすいまち」になることをお伝えしています。

### 車いすでGO!



「車いすの使い方」  
「車いすですぐにGO!」



【小学校での車いす体験授業の様子】

## 《6月に実施した福祉の出前入門講座 小学4年生・教員の感想》

- 児童**
  - ・車いすに実際に乗ってみたら意外と怖いと思いました。
  - ・思っていたより車いすを押すのが大変でした。
  - ・車いすで段差を越えるのが大変だということが分かりました。
- 教員**
  - ・とても充実した活動でした。
  - ・福祉学習の導入として素晴らしい内容でした。
  - ・車いす体験中、優しく声をかけあった姿がみられて嬉しかったです。

福祉体験学習を通して、車いすに乗っている方への配慮の大切さや**誰もが安心して暮らせるまちづくり**を考えるきっかけになったようです。



## せたがや福祉区民学会 第15回大会発表事例募集

令和5年11月11日(土) 東京農業大学 世田谷キャンパス 1号館2階(講義棟)  
(世田谷区桜丘1-1-1)で開催いたします。  
日ごろの実践活動や研究等に関する発表事例を募集しています。

皆さまの発表をお待ちしております

### 発表テーマ

- ①子ども・若者が輝くまち 世田谷
- ②地域をつなぐネットワーク
- ③多様性を認めあう共生社会づくり
- ④ケアにおける共同・連携
- ⑤福祉の魅力発信
- ⑥一人ひとりに向きあった実践
- ⑦食農と福祉をつなぐ(食農と福祉のシナジー)

### 内容

- ◎基調講演「障害者支援施設こころみ学園とそのワイン醸造場 ココ・ファーム・ワイナリーの歩み～あったもがばん～」  
越智 眞智子氏(社会福祉法人こころみ会 統括管理者)
- ◎実践研究発表(口頭発表、ポスター発表)
- ◎ワークショップ
- ◎「KAIGO PRIDE@SETAGAYA」写真展
- ◎福祉用具展示・体験会



## 【福祉のしごと相談】

研修センターでは「福祉のしごと相談」をお受けしています。相談無料、匿名OKです。独りで悩まないで、気軽にご相談ください。

### 福祉のしごと はじめて相談

相談日：月～金 9:00～16:00  
方法：来所・電話・メールで

### 福祉のしごと 悩み相談

- 面接相談 毎週木曜日 18:30～19:30
- メール相談 [soudan@setagayai.or.jp](mailto:soudan@setagayai.or.jp) まで



ホームページからのご確認ください!

発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター  
〒156-0043世田谷区松原6-3-7-10  
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階  
電話：03-6379-4280  
FAX：03-6379-4281  
HP：https://www.setagaya-jinzai.jp/



## 3年ぶりに研修センターで行います!

### ◎令和5年度「夏休み小・中・高校生福祉体験」

- ①内容：「特別養護老人ホームの取組み」「障害者のリハスポーツ」の動画や車いす・介護ベッド・ボッチャなどの体験
- ②対象：小学3～6年生親子・中学生・高校生
- ③日時：7月31日、8月5日、8月10日、8月12日、8月15日、8月19日、8月21日(午前・午後2回実施、1回2時間程度)
- ④場所：世田谷区福祉人材育成・研修センター
- ⑤募集：7月初旬に区立小中学校、図書館等でチラシ配付「区のお知らせ」で募集。



## 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ運営管理室協力事業

### ◎小学生手話体験

第2金曜日14時～15時は「手話カフェ」を実施中!

- ①内容：手話でのあいさつや自己紹介など、初めのはじめの一步から学びます。
- ②対象：小学3～6年生親子
- ③開催日：第2土曜日 14時～15時
- ④場所：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階 区民活動支援会議室1



### お願い

新型コロナウイルスは5類感染症に移行しましたが、研修センター事業にご参加の際は引き続き、**マスク着用**など感染症対策へのご協力をお願いいたします。  
研修センターでは研修内容に応じ、集合研修、WEB研修など効果的な研修を実施してまいります。



# 研修ピックアップ

## 対人援助技術研修【集合研修】

### 多職種連携を促進するためのコミュニケーション技法

開催日時：令和5年 5月24日（水）13時30分～16時30分

対人援助職にとって、多職種での連携や協働作業は今や必須であり、標準的活動形態となっています。連携・協働することの困難さや課題、協働を促進するコミュニケーション技法について学びました。4年ぶりに集合で開催しました。



講師：土屋 典子氏  
立正大学社会福祉学部教授  
社会福祉士

### 第一部

#### 1 多職種連携・協働とは何か

(1) インターエージェンシー・ワーキング（多機関協働）の時代

(2) 多機関協働・多職種協働の背景

- ① 統合ケア/地域包括ケア
- ② 複合問題事例
- ③ コロナ禍

→ 多機関協働が標準に



#### 2 連携・協働が難しいのはなぜか

- (1) 複雑な課題をもつ事例のそもそものしんどさ
- (2) 所属機関の組織文化の違い
- (3) よって立つ専門性の文化の違い
- (4) 個人的特性
- (5) 世代間ギャップ



協働を難しくする  
要因は幾重にも  
存在する！

#### 3 解決志向アプローチとチームの特性の理解

(1) 解決志向の原則

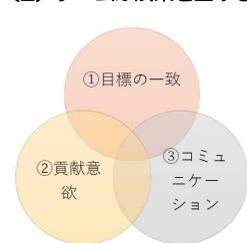
- ・うまくいったことをやる
- ・うまくいかなかったら違うことをする
- ・小さな一歩が大きな変化につながる
- ・解決は必ずしも直接的な問題に関連するとは限らない
- ・未来は創り出されるし努力して変えることができる
- ・私たちはすでに解決の第一歩を歩んでいる

解決志向  
してみよう！

難しい状況に直面した時、あえて

できていないところではなく、  
みんなができているところに着目する

(2) チームが成果を上げる条件



成功している  
チームの特徴

- ・率直に意見を言う
- ・協働する
- ・試みる
- ・省察する



### 第二部

#### 4 協働を促進するためのコミュニケーション技法

##### 初級編

会話を始める前のマジックワード

- 「今よろしいでしょうか」
- 「お忙しい中恐縮です」
- 「お手数ですが…」



→ さりげない枕詞が相手との空気をやわらかくする

「聴き方」  
「伝え方」

- ・正確に伝える
- ・わかりやすく伝える
- 6W1H、数値化、根拠

ペアワーク実践  
「我が家のカラーライスの  
のつくりかた」



##### コンプリメント（ほめ言葉）ワークの実践

→ 話していて、相手の素敵だなと思ったところを書き留めておき、あとで相手に渡す

##### 連携できる/協働感があるときの特徴

「聞いてもらえる」と思える感覚がある  
→ 専門職としてお互いに尊重しあえるかどうか

やっぱり  
集合研修は  
いいね！



##### 中級編

##### ▼ 苦手な専門職との距離の縮め方 単純接触効果

- ・できるだけ顔を合わせる機会を作る
- ・雑談を駆使し、話ができる関係を作る
- ・はじめは1分、徐々に伸ばす
- ・長時間1回よりも短時間で複数回
- ・名刺を渡す



##### ▼ 「信頼」をつくるための究極のコンプリメント

- ・ほめる、称賛する、ねぎらう
- 尊敬の念を証明する
- おべんちゃらやへつらいではない。ねぎらいの言葉は具体的な行為に対してかける
- うたがり深い人にはさりげなさが大事

##### 受講者アンケートから

- ・あつという間の時間にびっくりしました。元気になりました。
- ・息子さんの野球の話やアメリカの凶暴な少年たちの事例のことなど、小話がとてもおもしろく、わかりやすかった。
- ・解決志向アプローチに焦点を置き、誰もが安心して意見を言える場を作って、信頼関係を築いていきたい。
- ・大変楽しい講義とグループワークでした。
- ・こんな気持ちのいい研修の終わりは初めてで感動しました。
- ・人に関心をもってもらえて褒めてもらえることでこんなにも幸せな気持ちになれるんだと帰り道でニヤけてしまいました。
- ・集合研修の良さをあらためて感じました。

## 高齢・障害支援力向上 Sofuku講座「車椅子の基礎」【集合研修】

開催日時：令和5年5月12日（金）9時30分～12時 講師：近野 一浩 氏  
世田谷区保健センター 理学療法士



高齢・支援力向上 Sofuku講座は、世田谷区保健センターの職員（理学療法士・作業療法士・公認心理士等）により、介護技術や支援の実践力向上を目指し、全6回で実施します。令和5年度は集合にて実技演習をおとし学びを深めます。

第1回目は「車椅子の基礎」をテーマに、車椅子での座位や姿勢の直し方などについて学びました。グループごとの演習では、受講者が職場で直面している具体的な課題について質問するなど、疑問や不安が解消できる、効果的な研修となりました。また、活発に交流が図られました。

##### 研修の目標！

- 車椅子が、
- ・体に合っているか、合っていないかわかる
- ・どこが合っていないのか説明できる
- ・車椅子の調整機能を操作できる
- ・より安全安楽な座位姿勢の修正、誘導ができる



##### 講義

##### 車椅子座位が崩れる原因

- ・車椅子がその人の体に合っていない
- ・車椅子にクッションがない
- ・車椅子のクッションが薄い、柔らかすぎる
- ・痛いところが当たる（痛いところをよけて座る）
- ・筋力低下、持久力が乏しい
- ・座位姿勢を直せない（姿勢修正、除圧）
- ・全身状態の不良や服薬の影響
- ・そもそも最初の乗車した座位姿勢が良くない

##### シーティングが目指す車椅子

- ・使用場面や目的に合った座位の確保
- ・より良い休息・作業環境の提供
- ・二次障害の予防（褥瘡予防、誤嚥予防、変形予防等）
- ・自立性を高め、活動性の向上を図る（離床の促進、車椅子の自走等）
- ・介護負担の軽減

フットサポート・レックサポート・アームサポート・背張りの調整など、多くの調整機能を活用して、できる限り快適な座位姿勢に近づけることができます。

##### 演習

- ・実際に調整機能を確認しながら、受講者同士で調整する。
- ・崩れた姿勢を直す。

##### ● 持ち上げない・すっこけ座りの直し方 【前方介助】が基本！



- ① 利用者の足を床に下ろす
- ① 介助者は足を肩幅に開く
- ① 利用者の肩に手を添える
- ① 背もたれに背中をつける
- ② 利用者の足を膝より後ろに引く
- ② 枕を膝で押さえる
- ② 更に前傾させ、重心を足底に移動させお尻を浮かす
- ② 足台に足を乗せる
- ③ 枕を膝に当てる
- ③ 背もたれから背中を離す
- ③ 介助者の膝で利用者の膝を押す

後方から引き上げる介助はやめましょう！



体圧分布を色で「見える化」  
車椅子の調整や姿勢を変え、座圧分布の変化を確認しました！  
赤色部分に体重が集中！

##### CHECK! Sofuku講座 今後のスケジュール【集合研修】

- 移乗介助とおむつの基礎 令和5年6月28日（水）9：30～12：00  
内容：福祉用具を用いた移乗、おむつの基礎
- 失語症の理解とコミュニケーション方法 令和5年10月16日（月）午後  
内容：失語症についての基礎知識、会話技術の演習 など
- 作業環境の工夫 令和5年11月9日（木）午後  
内容：理想的な作業姿勢、道具と自助具の選び方、作業の見立て など
- 嚥下障害の理解とケア 令和5年12月11日（月）午後  
内容：摂食、嚥下障害のしくみ、食事介助の基礎知識、ポジショニング など
- 視覚障害の理解 令和6年2月13日（火）午後  
内容：見えにくさの理解、支援者の役割、見えにくさの疑似体験 など

##### 受講者アンケートから

- ・体験を通して、目線の位置が大切、フットレストから足をおろした方が除圧できること、さらに座圧分布装置で実際に見て、確認できたのがとてもよかった。
- ・座位が崩れた時の姿勢の直し方がわかった。